

校長室つれづれ言葉

「体育祭を通して考えてほしいこと」

人は、人とのつながりの中で生活しています。

だから、自分の思いと相手の思いがぶつかり合い、

うまくいかなかったり悩んだりもします。

自分の思いばかりを伝えてしまいすぎると、相手は嫌になります。

相手のために伝えているのに、あなたのことが心配だから言っているのに。

「のに」がつくと愚痴になります。

相手のことといっても、自分の考え、自分が正しいと思っていることが中心です。

相手の思いには、近づいていません。

相手の思いや気持ちに寄り添うために、

相手をよくみて、相手の心の中を想像してみましょう。

つまり、このことが相手の立場に立つということだと思います。

でも、相手のことを完全に理解することはできません。

また、相手のことばかり考えてしまうと、自分がつぶれてしまいます。

だから、人間関係についての学習は一生ものです。

ただ、心がけたいことは、

相手の失敗をせめないことです。

せめているときは、自分の心にゆとりがないときかもしれません。

自分のストレスが、たまりすぎているときかもしれません。

時々、自分を見つめるように心がけ、肩の力を抜きましょう。

そして、「ありがとう」と言えることを探していきましょう。

できれば、このことを相手の方に伝えていきましょう。

自立とは。

人は人、自分は自分です。

このことを念頭におきながら、助け合い協力しましょう。

きっとよりよい人間関係を、社会をつくりあげていくでしょう。

また、このことを念頭におきながら、自分の道を歩んでいきましょう。

誰一人同じ道を歩むことがない自分の人生の道を切り拓いていくでしょう。



イラスト 文化探求部